テーマ 03

教科とのかかわり
社会・美術

青森の祭り ねぶた・ねぷたを学ぶ

SDGsに関連した体験プログラム

学習のねらいとその効果

- 青森の伝統的な祭り「ねぶた・ねぷた」にふれ、地域の歴史や生活文化、祭りに込められた人々の想いを学ぶ。
- 青森の祭りについて学び体験することを通して、風土に根ざした地域文化への関心と理解を高める。
- ねぶたの運行体験を通じて、達成感や感動、「ねぶた」のパワーを感じるとともに役割分担と協力の大切さを学ぶ。

日本を代表する火祭りのひとつ「青森ねぶた」。ねぶた制作:竹浪比呂央

年発五 五所川原の立佞武多。1993年に明治・大正期の設計図が発見され、これをもとに製作しようという運動が始まり、5年後の夏祭りで80年ぶりに復活した。

青森人の1年はねぶたとともにある

東北の夏を代表する祭りのひとつ、青森ねぶたは1980年に国の重要無形民俗文化財に指定されました。「ねぶた」の起源は、みそぎの行事「七夕」に行われる「眠り流し」の灯籠流しに由来するというのが一般的です。秋の収穫期を前に、労働を妨げる睡魔をはらうために行われたとも言われています。

ねぶたを製作する人を「ねぶた師」と呼びます。ねぶた師は、ねぶた祭りが終わるとすぐ来年の構想に取りかかります。題材を考え、構想を練り、設計図となる下絵を描く。下絵をもとに骨組みをつくり、紙貼り、墨書き、ロウ書き、色づけ、台上げなどの作業を経て、ようやく完成です。製作期間は約1年で、その間に囃子方の練習も行われます。祭りを待ち望む多くの市民によるボランティア活動も盛んです。

地域の風土に根ざした祭りのかたち

青森県では、「青森ねぶた」の他にも各地で様々なねぶた・ねぷたが開催されています。その代表的なものが「弘前ねぷた」や「五所川原立佞武多（たちねぷた）」です。囃子方のかけ声は、青森が「ラッセラー」、弘前は「ヤーヤドー」、五所川原は「ヤッテマレ」と、それぞれ違います。弘前ねぷたは、青森ねぶたとともに国の重要無形民俗文化財に指定されています。その違いはよく〝動〟の青森、〝静〟の弘前と表現されます。青森の「ねぶた」が歌舞伎風の人形の灯籠なのに対し、弘前は扇形が主体。「ねぷた」の表面には三国志などの勇壮な鏡絵が描かれ、見送り絵と呼ばれる裏面には美人画や水墨画が描かれます。五所川原立佞武多は、高さが約23mの巨大な山車が運行されます。

情緒あふれる「弘前ねぷた」。

青森ねぶたの昼間運行で躍動する跳人（はねと）たち。

体験プランの一例

ねぶた・ねぷたを実際に見て歴史や製作工程を学び、
ハネト・囃子方・曳き手に分かれてのねぶた運行や、ねぶた囃子演奏を体験します。
これにより、伝統文化への関心を深め、想像力や工夫する力を養い、
協力して事を成し遂げる達成感と感動を得ることができます。

立佞武多の館

展望ラウンジ「春槍（はるにれ）」や物産ホール「花しょうぶ」でお土産購入や食事も可能。

①立佞武多展示室（40分）
大型スクリーン上映で祭りを体感。
高さ約23mの立佞武多を見学。

②遊楽工房「かわらひわ」（45～90分）
立佞武多の紙を再利用したうちわなどの製作体験。

津軽藩ねぷた村

展望ラウンジ「春槍（はるにれ）」や物産ホール「花しょうぶ」でお土産購入や食事も可能。

①弘前ねぷた館見学（約30～45分）
高さ10mの大型ねぷたと内部の骨組みを見学。ねぷたの説明や笛と太鼓のお囃子を鑑賞。太鼓叩き体験も可能。各地域ねぶた、ねぷたのお囃子を聞き比べショーも実施可能。

②民工芸品製作体験（90分）
金魚ねぷたや津軽凧などの製作体験。

ねぶたの家 ワ・ラッセ

①学習教材DVD鑑賞（約15分）
ねぶたの1年がわかる映像を鑑賞。

オプション 腰鈴づくり（約20分）
「跳人」が身に着ける腰鈴を制作。作った腰鈴を付けて「ハネト体験」をするとより祭りの雰囲気が体験できます。
腰鈴づくり　1セット600円

②ハネト体験（約10分）
囃子方の演奏に合わせて「跳人」を体験。

③ねぶたミュージアム見学（約20分）
ねぶたの歴史、制作技術や題材の移り変わりを学び、実際に出陣したねぶたを見学。

浅虫温泉ねぶた運行体験

①跳人・囃子・曳き手の役割を分担（約10分）

②運行出発地点へ集合（2～3分）

③浅虫温泉ねぶた2台を運行（小雨決行）（約60分）

各宿泊先へ

ねぶた祭の期間を除く5月から9月、跳人たちと一緒に実際の祭りの雰囲気を味わうことができる。

おもな体験内容とお問い合わせ先、アクセスなど詳細情報

立佞武多（たちねぷた）の館 小中高

お問合せ先 ☎0173-38-3232
住所／〒037-0063
五所川原市大町506-10
アクセス／浪岡I.C.より車で約20分
JR「五所川原駅」より徒歩約5分
営業時間／9:00～17:00
入館料／無料
なお、「立佞武多展示室」、「立佞武多展示室と美術展ギャラリーセット券」ともに、小・中学生300（団体270）円、高校生500（団体450）円の入場料がかかります。

①金魚ねぷた製作体験（約60分）

紙貼りまで終えた金魚型のねぶたに顔を描き込む「墨入れ」、柄をつける「ロウ引き」、色を塗る「色付け」の3工程を行います。

※30名を超える場合は何組かに分け、入れ替えとなります（要相談）。
※化粧箱にその場で詰めるため、乾燥させる待ち時間はなく、その場で持ち帰りできます。

②ねぷたライト（約60分）

ねぷたを解体する際に剥いだ紙を再利用し、簡状のベースに好きな形で貼り付けする簡単作業でオリジナルのライトが作れます。

※30名を超える場合は何組かに分け、入れ替えとなります（要相談）。

③うちわづくり（約45分）

ねぷたを解体する際に剥いだ紙を再利用し、あらかじめ切り分けた紙をうちわのネネに貼り付ける作業を行います。

※30名を超える場合は何組かに分け、入れ替えとなります（要相談）。

	受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
①	通年	10:00～16:00	最大30名	有料
②	通年	10:00～16:00	最大30名	有料
③	通年	10:00～16:00	最大30名	有料

ねぶたの家 ワ・ラッセ 小中高

お問合せ先☎017-752-1311
住所／〒030-0803 青森市安方1丁目1-1
アクセス／JR「青森駅」より徒歩1分
営業時間／ねぶたミュージアム・ねぶたホール
9:00～19:00(5～8月)、9:00～18:00(9～4月)
入場料／小・中学生260円 高校生460円　大人620円

ワ・ラッセ工房（20～30分）

オリジナル教材によるものづくり体験

■ 腰鈴づくり…跳人が身に着ける腰鈴を制作。「ハネト体験」をするとより祭りの雰囲気が体験できます。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
通年	9:00～17:00	10～最大180名	600円

ねぶた体験教室（30～50分）

ねぶたの制作過程や、祭りの様式を映像などで学び、ハネトや祭り囃子の体験を通してねぶた祭の魅力を体感する。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
通年	9:00～17:00	10～最大120名	教育旅行生の場合無料

浅虫温泉観光協会 小中高

お問合せ先☎017-752-3250
住所／〒039-3501 青森市浅虫字蛍谷70
アクセス／浅虫温泉:青い森鉄道「浅虫温泉駅」より徒歩約1分

浅虫温泉ねぶた運行体験（約90分）

浅虫温泉ねぶた祭で実際に使用するねぶたと太鼓を使い、ハネト・囃子・ねぶた引き等すべて生徒さんに体験して頂きます。

※小雨の場合でも決行します。
※事前学習用に紹介ビデオの提供と笛や楽譜の貸し出しを行っておりますのでお問い合わせ下さい。

受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
5月～9月	18:30～20:00	50～350名	基本料金50,000円 ＋200円×参加人数

津軽藩ねぶた村 小中高

お問合せ先☎0172-39-1511
住所／〒036-8332 弘前市亀甲町61
アクセス／ JR「弘前駅」よりバス「津軽藩ねぶた村」下車すぐ、
大鰐弘前I.C.より車で約20分
営業時間／9:00～17:00
入村料／中・高校生400円(団体300円)

「弘前ねぷたの館」では中の構造を見学できる大型の弘前ねぷたを展示し、お囃子の実演をしています。太鼓の演奏体験も可能。

①金魚ねぷた絵付け（約60～90分）

金魚ねぷたに墨書き、ロウ書きし、最後に色付けして完成させます。

②津軽凧（絵付60～90分／制作3時間30分）

下絵を用いて和紙に凧絵を描きます。制作の場合は、ヒバの骨に絵を貼りつけます。

	受入期間	体験可能時間	体験人数	料金
①	通年	7:00～20:00	10～350名	1,400円
②	通年	7:00～20:00	10～350名	1,200円～

ねぶたを体験できる宿泊施設です ●青森市浅虫温泉 南部屋・海扇閣 浅虫さくら観光ホテル・青森ワイナリーホテル他 P45・P48参照